



(題字は中村岩次郎元会長)

発行所

柳川市本町142番地
伝習館同窓会
電話 0944-73-3116

二 挨拶

同窓会会長
立花寛茂



同窓会の皆様お褒りなくお過ごしでしょうか？

今年、三月の卒業式の時期にはニュージーランドのクライストチャーチの地震で犠牲になった日本の若い方達に心を痛め、四月の入学式の頃には東日本を襲った

館長二年目に あたって

館長
三宅清二



今、日本は千年に一度という東日本大震災に遭遇し、国民は一致団結してこの困難に立ち向かっているところ

本校でも、生徒会がすぐに立ち上がり、大震災三日後の三月十四日のクラスマッチ閉会式に於いて、生徒会長が全校生徒・職員に東日本大震災に向けた募金活動を呼びかけ、校内だけでなく西鉄柳川駅を中心にした街頭募金を開始し、五

かと思え思え、これからはもつと自然に對して畏敬の念をもつて接し、自然に感謝し自然と共に生きていかなければならない時代が来ているのかも分りません。

た現実のものとは信じられない未曾有の大災害に言葉も有りませんでした。もしかしら伝習館の卒業生や関係者の方々が災害に遇ったり、又犠牲になられた方も居らっしゃるのではないかと思います。心からお見舞い申し上げます。

子供の頃、親爺からよく関東大震災の話聞いてましたが、まさか自分が阪神大震災と今度二度も経験するとは思っていませんでした。二度あることは、と言いますからこれから決して油断は出来ません。もしかしたら力づくで環境を破壊している人間に地球が怒っているのではない

又福島原発事故では大勢の方達が不安と不便と不満を乗り越えた避難生活を強いられつつありますが、これも一刻も早く終息して普通の生活に戻れるようになってもらいたいものです。

災害復興と合せて今こそ日本の底力を見せる時です。若い頃ドイツ人からよく「日本人は水と安全はタダと思ってる」と言われたけれど、今や正にその言葉を実感しています。災害復興と合せて戦後の先人達が培ってきた「日本人の底力」を今こそ見せるべきときです。

今回は柳川の話が無くても申し訳ありませんが、三万円の募金を集め、西日本新聞社を通じ日本赤十字社に寄付したのです。本校の教育の目標は、初代館長の立花政樹先生が作られた三稜の星に示されるように、知・徳・体の調和のとれた社会に有為な人材を育成することにあります。本校の生徒達は、この目標に向かってすすくと育ってくれていると思います。

なぜなら、昨年度を振り返って見ますと、進学の面においては東京大学を始めとする九州大学や国立大医学部など国立の難関大学や、早稲田・慶應などの難関といわれる私大にも多くの生徒達が進学しました。

また、部活動に於いても運動部はほとんどの部が県大会以上まで進出し、文化部に至っては、県大会、九州大会、さらには全国大会まで進出しました。また、東

月の大震災と時を同じくして九州新幹線が全線開通しましたし、中山の大藤も今年も見事な花を咲かせていました。

只、九州新幹線は筑後船小屋駅に止るのが一時間に一本だけ、高い博多に出るのに便利だった瀬高駅止りの在来線の特急が無くなってしまふ、九州新幹線の開通が我々にとつてこんなに不便になるとは思いませんでした。今のところあれはどうも博多駅と鹿兒島のためだけに出来たような感じですが、現在、太宰府の九州国博で開催中の「黄檗」展では伝習館所蔵の「孔子像」が展示されております。新築中の伝習館落成の晩には一般の方々の目にもふれるような状況が作れば幸いです。

これからは、伝習館生が豊かな資質と高い能力を持つと同時に、それらを社会のために活用し貢献しなければならぬという、伝習館の長い歴史の中で形成されてきた伝統と呼ばれる学校文化というものが大きな影響を与えていると思います。

現在、少子化の為、数年前から大牟田市まで学区が拡大されていますが、伝習館生の努力と成果が地域の方々から評価を受け、多くの生徒達が旧学区外の大牟田から入学し学ぶようになっていきます。伝習館は、今や上昇の気運に満ちています。

二 挨拶

事務長 古賀敏生

本年四月の人事異動により、柳河特別支援学校から転任して来ました。三十三年間の公務員生活の大半を教育行政畑に籍を置いていたもので、三年前に前任校へ勤めるようになったときは、学校現場での業務に戸惑いながらも、子ども達がいる職場の楽しさや責任の重さを感じながら仕事をしてきました。その間には創立百周年の記念行事や校舎の全面内部改修など今までに経験したことがない色々なことがありました。

しかし、子ども達から元気をもらいながら、子ども達のために何が出来るかを考えながら行う仕事は大変楽しいものでした。今回、藩校から数えて百八十八年目という歴史と文化を誇る伝習館高校に赴任し、身の引き締まる思いです。赴任に際し、本校出身でもある龍参事から母校への思いも含めて引き継ぎを受け、自分としても本校の歴史や文化が将来にわたって引き継がれ、更に発展していくための環境を整うよう校舎改築にも取り組み、本校で学んだ生徒達が「伝習館」で学べた喜びと誇りを持って巣立っていきけるよう取り組んでいきたいと思っています。

最後にになりましたが、日頃から同窓会の皆様には、物心両面にわたるご支援をいただいておりますが、今後の校舎改築等に際しましても、事務室としても努力して参りますので、これまで同様ご指導ご支援をよろしくお願い致します。

伝習館に赴任して

教頭 丸山 猛

縁あって4月に教頭として赴任いたしました。同窓生の皆様には大変お世話になることと存じます。何卒よろしくお願いたします。

まず、4月1日に伝習館の校門をくぐって見た校舎の校庭の印象ですが、水路の柳や落ち着いた街並みに歴史と品位を感じさせる柳川の街の中心に、その街に似合った品格あるたたずまいを感じました。特に旧制中学時代の門柱や創立170周年記念として建てられた中庭に鎮座する堂々たる校名碑に揺るがぬ風格を感じました。また、生徒たちに出会うと本当にはつらつとした元氣な声で挨拶をしてきました。純朴で明るい生徒たちの眼差しにも伝習館生である自覚と自信に基づいた深い品位を感じました。

さて、長い伝統が息づく伝習館の教育方針「三稜精神」、すなわち国家、社会の有為な人材として活躍するために必要な、校章の三稜の星が意味する「知、徳、体」のバランスがとれた人材の育成についてでありますが、これは誠にすばらしい教育方針であると思えます。そして、このバランス

着任の挨拶

定時制教頭 梅井伸泰

未曾有の大被害をもたらした東北地方の巨大地震から間もないこの四月に、三池高校から赴任してまいりました。まずは、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

前任校では、校史の編纂に携わり、柳河藩と三池藩の関係を学びました。豊臣秀吉の九州平定後、柳河藩の祖立花宗茂公は、筑後四郡十三万二千二百石のうち、郡の立花直次公に三池藩一万八千石を分与していま

す。この兄弟関係にある柳

感覚がきわめて大切であることを前提として、目標が定めやすい知育、体育に対して、これからの日本の安定と発展のためには多少抽象的な徳育の実践が重要になってくると私は考えます。Wikipediaにより「徳」とは、「人間の持つ気質や能力に、社会性や道徳性が発揮されたもの」であり、「社会的経験や道徳的訓練によって獲得し」、「気品、意志、温情、理性、忠誠、勇気、名誉、誠実、自信、謙虚、健康、楽天主義」などが個々の徳目と位置付けられることができるとあります。私は特に「誠実」であるということが大切であり、真に誠実な生き方ができる人間の育成こそが重要であると考へます。

古来から日本人は秩序を重んじ、規律を守り、大変礼儀正しく、義・誠を尊ぶ民族であった訳です。特に道徳性の高さは世界でも抜きん出ていたようです。このことは今まさに日本に求められている外国人が、日本人が正直であり誠実な民族であることを書き留めています。我々日本人はこの「誠実」を基にした家族的な運命共同体を形成したことで、二千年以上単一国家を維持し存在することができた

河藩の藩校を前身とする本校に赴任できたことを、とてもうれしく思います。さて、本校の創立者十代立花鑑賢公も読まれた「理学抄要」(江戸初期、柳河藩の藩士教育にあつた安東省菴の名著)には「学問の道、さまざまありといえども、畢竟は心をみがくことにとどまれり」とあります。定時制は、働きながら勉強したい人たちが学ぶ場であるはずですが、昼間の仕事で疲弊したりするなど、厳しい条件のなかで学業を続けなければなりません。また、社会の一員として自分の仕事と位置と責任を学ばなければなりません。ここには、努力と忍耐が必要で

です。西欧列強の圧力により窮地に陥ったとき明治維新を成功させ独立を保ったのも、敗戦後の混乱を乗り越え奇跡的な経済発展をなし上げたのも「誠実」を基にした協調性、結束力、自己犠牲心、使命感などの特質があつたからこそできたのだと思います。

ところが、この日本人の美徳といえるこのような特質が失われようとしていることは誰もが感じているところだと思います。我々はもう一度誠実に生きることの大切さを自覚し、古来からの伝統に根付くしつかりとした道徳観、倫理観を備えた国民を育成していくことが重要だと思えます。そして、そのことにより世界でも希有な道徳大国として復活することが日本の繁栄に繋がることと確信します。

いづれ社会のリーダーとして活躍することが期待される伝習館の生徒には、誰よりも高い意識を持って、知力・体力の充実とともに高い徳性を身につけ、この国を支えようという高い志を持って頑張ってもらいたいと思っています。私はそのための教育の手助けができる伝習館に赴任できましたことを本当に幸せに思います。

すが、これらのことが心をみがくことにつながるものと考えます。生徒が働ながら学ぶ意義をくみ取り、定時制を育て、人生に花が咲くように願うばかりです。

夜間の教室で机を共にする友人や先輩達や、教師との関わりは、生徒の長い人生にはとても有意義と考えます。同時に自身の人生においても同じことと考えます。中国古典の『書経』に「教うるは学ぶの半ば」とありますが、働かながら学ぶ意義をくみ取るよう教えることを通じて自分の心もみがいて行きたいと思えます。よろしくお願いたします。

が、このことが心をみがくことにつながるものと考えます。生徒が働ながら学ぶ意義をくみ取り、定時制を育て、人生に花が咲くように願うばかりです。

夜間の教室で机を共にする友人や先輩達や、教師との関わりは、生徒の長い人生にはとても有意義と考えます。同時に自身の人生においても同じことと考えます。中国古典の『書経』に「教うるは学ぶの半ば」とありますが、働かながら学ぶ意義をくみ取るよう教えることを通じて自分の心もみがいて行きたいと思えます。よろしくお願いたします。

が、このことが心をみがくことにつながるものと考えます。生徒が働ながら学ぶ意義をくみ取り、定時制を育て、人生に花が咲くように願うばかりです。

夜間の教室で机を共にする友人や先輩達や、教師との関わりは、生徒の長い人生にはとても有意義と考えます。同時に自身の人生においても同じことと考えます。中国古典の『書経』に「教うるは学ぶの半ば」とありますが、働かながら学ぶ意義をくみ取るよう教えることを通じて自分の心もみがいて行きたいと思えます。よろしくお願いたします。

第61回伝習館同窓会総会に向けて

実行委員長 荒巻 英樹 (高校33回生)

同窓生の皆さん、こんにちは。今年の伝習館同窓会総会は、昭和57(1982)年卒業の私たち33回生がお世話をして頂きますが、10月9日の開催に向けてご準備を進めて頂いております。さて、最近私が一番目にする「書物」は平成22年2月に発行された本校の同窓会名簿ですが、700ページを超す分厚い名簿に改めて歴史と伝統を噛みしめています。

私たちが昨年10月に32回生の先輩からバトンを受けては半年が過ぎましたが、日に日に先輩方の苦勞が身に染みてきております。現在の活動は、総会議案書の広告協賛のお願いが中心ですが、二ヶ月前の大震災の件もあり、大変厳しい予測のもとに活動を開始しましたが、同窓生の皆さんの母校に対する熱い気持ちに支えられて、何とか頑張っているところです。また、一つの大きな目標に向かい仲間と力を合わせて取り組んでいく喜びを頂いているのも紛れもない事実であります。

私自身、三十代の頃には同窓会総会はとも敷居の高いものと思込んでいたのですが、初めて参加した5年前に感じたのは「もっと早くから参加しとけばよかった」という気持ちでした。まだ参加したことのない卒業生の皆さん、気軽に一度参加してみてください。きっと、いや間違いない素晴らしい出会いが待っています。それが伝習館であり伝習館同窓会です。

最後になりますが、当日は地元に残っている同級生はもとより、日本各地から帰ってくる仲間たちと一丸となって、ご参加の皆さんの思い出に残る同窓会総会を目指して頑張ってください。お一人でも多くのご参加を心よりお願い申し上げます。10月9日は御花で待つとるばんも。「同窓生の皆さん、10月9日は御花で待つとるばんも。」

第61回 伝習館大同窓会案内

日時 平成23年10月9日(日)
会場 「御花」

- ①総会、記念講演会 13:30より
講師 中島啓江氏
演題 「生きる力」
- ②懇親会 16:30より



伝習館第7回卒同期会

同期会報告

第7回卒業

世話人代表 関 敬次

3月29日に柳川御花で卒業55年の節目の同期会を開催しました。我々第7回(昭和31年卒)の卒業者は総数490名、そのうち出席者は79名でした。今回は一生忘れられないことのできない同

期会になりました。ご承知のとおり3月11日に起こった東日本の大地震、大津波、それに加えて福島原発の事故、私たちの誰もが経験したことのない未曾有の大震災です。多くの犠牲になられた方々、未だ遺体すらあがらぬ不明者の方々に心から哀悼の念をこめて黙祷をささげました。宴会では、久しぶりの再会にみなさんがすっかり年齢を忘れ、高校生気分ですり合っ姿を見につれ、時の流れの速さをつくづく感じたものでした。予定時間の2時間半を軽くオーバーし、そのあとの2次会でもさらに盛り上がるなど、まだまだ元気なご同輩を見て、頑張らんとおっしゃるなど、元気な姿で参加していただきました。今回の担当として感謝の気持ちで一杯です。さらにまた次回(喜寿)開催しようじゃないかとのお声もいただき、嬉しい限りでした。同期会状況を見ますと、中学卒何回とか高卒一桁前半の諸先輩の方々のご活躍にふれ、私達年代もまだまだ老い込む訳にはいきません。次回の開催を信じ、元気にまた再会できることを心に念じたことでした。

職員往来

《全日制》

- ◇退職された先生

| | |
|--------|-------------------|
| 教頭 | 近藤 誠一 |
| 参事兼事務長 | 龍 寧二 |
| 教諭 | 寺地 耕造 (大川樟風高再任用) |
| 教諭 | 鐘ヶ江 勢二 (大川樟風高再任用) |
| 常勤講師 | 鑑 麻美 |
| 常勤講師 | 江口 政典 |
| 非常勤講師 | 木村 清吾 |
| 非常勤講師 | 森田 朋子 |

- ◇転出された先生

| | |
|------|----------------|
| 教諭 | 磯野 憲治 (八女工高) |
| 教諭 | 竹下 潤次 (大牟田北高) |
| 事務次長 | 原 昌則 (浮羽工高事務長) |
| 事務主査 | 小宮 恭子 (大和小学校) |

- ◇転入された先生

| | |
|-------|-----------------|
| 教頭 | 丸山 猛 (明善高) |
| 事務長 | 古賀 敏生 (柳河特別支援) |
| 教諭 | 松岡 浩也 (三池高) |
| 教諭 | 長濱 博久 (三池高) |
| 教諭 | 小川 康弘 (浮羽高) |
| 教諭 | 山岡 恵男 (ありあけ新世高) |
| 事務次長 | 金納 芳典 (久留米築水高) |
| 事務主査 | 山口 秋夫 (筑後特別支援) |
| 常勤講師 | 藤本 大悟 |
| 常勤講師 | 富永 友里 |
| 非常勤講師 | 鳥越 正敬 |
| 非常勤講師 | 川井 昌子 |
| 非常勤講師 | 堤 諒一 |

《定時制》

- ◇退職された先生

| | |
|--------|-------|
| 参事兼事務長 | 龍 寧二 |
| 常勤講師 | 枕島 雅彦 |
| 常勤講師 | 児玉 昭秀 |
- ◇転出された先生

| | |
|----|-------------|
| 教頭 | 長 俊一 (久留米高) |
|----|-------------|
- ◇転入された先生

| | |
|------|----------------|
| 教頭 | 梅井 伸泰 (三池高) |
| 事務長 | 古賀 敏生 (柳河特別支援) |
| 教諭 | 中村 稔 (福島高) |
| 常勤講師 | 中村 満男 (三池高) |

第三十回ふくの会

高校第五回卒業関東地区同期会

「三十回記念誌と「コンサート」

代表幹事 下河秀行

第五回卒業の関東地区同期会(ふくの会)を、平成二十二年十一月八日、東京グランドパレスで行いました。今年は、三十回と七十五歳と言う人生の節目の年に当たったので別紙五十ページ「記念誌」を発行しました。殆んどカラー刷りで、構成・編集・印刷が大変だったことは言うまでもありませんでした。まず、東京同窓会江崎会長に特別寄稿をお願いしたので始めとして、同期生から沢山の懐かしい寄稿をしていただき、絆を感じて本当に感謝しています。その一部を担当の先生方と母校同窓会事務局に寄贈させていただきます。

同期会は、他の用事や病気で多少少なかつたのですが、特別企画で、初の試みとして、プロのシャンソン歌手黛ようこ



さんと一流のピアニストをお呼びして、本場パリの香りが漂う歌声に皆さんがうっとりとした様子で、歌を堪能していました。今回の幹事は、梅崎純一郎君、宮川政実君、私下河秀行の三人でつとめました。

また、第十二回目の同期会が全体同期会としては最後になります。今年六月四日、柳川お花で行われることになっています。今回も東京から十数人が駆けつけ、級友と旧交を温めます。(写真は、ふくの会と、記念誌)

平成23年度 同期会のお知らせ

- 高5回 喜寿同期会
 - 日時 6月4日(土)
 - 場所 「御花」
 - 15:00 受付
 - 15:30 記念写真
 - 16:00 開会
- 第8回(昭和32年)卒同級会
 - 日時 11月6日(日) 午後1時~3時
 - 場所 財団法人三菱養和会レストラン「バルテール」 千170-0002 豊島区巢鴨2-8-1 TEL03-3915-2710
 - 会費 男性8,000円、女性7,000円(当日会場払い)
 - その他 翌日ゴルフコンペ (於総武カントリークラブ…千葉県印西市)
 - 連絡先 樋口 誠佑 (Tel/Fax: 04-7131-2603)

平成23年度 支部総会開催予定

- 大和町支部 5月14日(土) 10:30 大福会館
- 久留米支部 5月20日(金) 18:00 グリーンリッチホテル久留米
- 山 川支部 5月21日(土) 18:00 勝島
- 大牟田支部 5月28日(土) 17:00 だいふく
- 関 西支部 5月29日(日) 11:30 リーガロイヤルホテル
- 瀬 高支部 6月5日(日) 17:00 可志久
- 名古屋支部 6月26日(日) 11:30 名古屋国際ホテル
- 福 岡支部 9月2日(金) 18:30 ソラリア西鉄ホテル

第60回伝習館 同窓会総会に出席して

第8回(昭和32年)卒 樋口 誠 佑



第8回卒の仲間(第60回伝習館同窓会 平成22年10月9日)

旭町の「大松下のあめ」や粕濱・越山餅を自宅に送った後、再び「ランヴェイエル勝島」に地元家庭料理を頂きに伺い、ご主人の丹誠を込めてお作り頂いた料理は本当に美味しく、柳川に帰った甲斐があったと、大満足いたしました。これは私の最も楽しみな(秘)帰省定番コースです。

総会会場の柳川市民会館では、第32回卒の実行委員がテキパキと整理に当り、総会も原案通り承認されて順調に終了。お待ちかねの「桂文珍師匠記念講演」となりました。

5時から「御花」での懇親会は、4時30分には我々第8回卒先遣隊から「何バレットトットゾー」早よコンカイと、さながら同級会(35名出席)の趣でした。2次会で「しげちゃん(西鉄柳川駅前、同級生経営)」に移動、カラオケと歓談、又の再会を約束して解散したのは10時過ぎでした。

10日午前中、妙経寺(蟹町)にある母方の墓の閉眼式を行い、永代供養をお願いしましたが、柳川との縁が又一つ薄くなったようで、淋しく思いました。

10日午前中、妙経寺(蟹町)にある母方の墓の閉眼式を行い、永代供養をお願いしましたが、柳川との縁が又一つ薄くなったようで、淋しく思いました。

翌11日に福岡での所用を済ませて、千葉県柏市の自宅(利根川の畔)に戻りました。

私は、終戦後朝鮮から引き揚げて、妙経寺(前述)の社務所にお世話になったのが、柳川との縁の始まりです。

釜山第6国民小学校に入学し、柳河小学校へ編入して同校を卒業するまで、小学校を都合5回転校しましたので、幼馴染みと呼べる友達は極少数です。多くの方が戦後のドサクサを必死に生き抜いた、辛い淋しい時代でした。地元の方に較べると縁が薄い

のですが、それでも私の故郷は柳川です。そして、私が社会に出て今日があるのは、伝習館高校のお陰だと感謝しております。その様な次第で、学生生活で得た数少ない友人と、伝統ある伝習館高校で学べたことは、私の大きな誇りであり財産です。総会への出席・友人との再会、お墓の整理その他と忙しい日程でしたが、明日への希望と活力を蓄えられた有意義な旅でした。

評議員便り 立命館大学経営学部二年 高口 瑞貴(高校61回卒) 皆さんこんにちは。平成21年度卒業生の高口瑞貴です。私は現在、立命館大学経営学部経営学科に在籍し、会計・ファイナンスコースを専攻しています。

関西支部からの お知らせ

伝習館高校同窓会関西支部では就職活動中の同窓生をサポートする目的で「就職活動勉強会」を開催しています。★毎月第2金曜18時~19時 ★場所：待鳥税理士事務所(地下鉄堺筋線長堀橋駅すぐ) 費用は無料です。都度変更もありますので、事務局 山口(35回卒) yamaguchi@apt-co.jp Tel 090-1653-8652 までご連絡下さい。又就活を支援いただける先輩社会人の方も募集しています。同じく事務局まで。

私はその時間の一部を簿記の学習に当てています。大学生活の中で一つでも頑張ったことが残るようにしたいと思えます。三年生のみなさんは、この時期、部活動を引退し、夕課外に参加し始める人が多いのではないのでしょうか。今から本格的に受験勉強が始まりますね。これからは、だんだんと勉強時間も増え、受験に対する緊張感も不安も高まってくると思います。また、成績が思うようになりかたがちな時期でもあります。でも、そんな時にこそ、目標を見つめ直してみてください。また、自分の周りを見てみてください。自分と同じように、悩んでいる人もいます。勉強を頑張っている友達もたくさんいますよ。友達と励ましあったりして、決して諦めずに目標に向かって進んでください。皆さんの努力が実ることを心から願っています。一・二年生の皆さんも貴重な高校生活を悔いのないように送ってください。

将来の夢について 福岡大学工学部二年 梅崎 友嗣(高校61回卒) 当時のイメージでは「家からすぐ近くで、勉強ばかり」そんなイメージの学校でしたが、今となつては、高校時代に戻れるなら戻りたいと思う最高の場所。そんな伝習館を卒業して早くも一年と二ヵ月。僕は受験で国立大学に落ち、今は私立大学に通っています。大学の学部学課を選択するとき、自分の将来の夢というものが無かった僕は、とりあえず工学部に進むというのには自分の性格上決まっていたので、就職の範囲が広い学科に行き、大学生活の中で探していこうと思ひ、今の学科に入学しました。日々、様々な授業を受けたりますうちに、最近になって薄すらであります。がようやく自分の「夢」が見つ

かた気がしています。さて、皆さんには今、自分の将来の「夢」というものはありますか。今、「夢」があるという人はその「夢」を叶えるには簡単にいかない事が山程あったり、何度も挫折することがあるかも知れません。受験もその一つですが、それを乗り越えるために日々コツコツと努力して頑張ってください。 まだ「夢」が見つかっていない人で焦っている人がいるかも知れません。現在では「夢」を持つている子供は少ないといえます。現に僕もそうです。今、「夢」を見つけてきていない人は、まだ焦る必要はないと思います。色んな人の話を聞いたり読んだりして思ったのですが、「夢」というのは、様々な体験をして見つけたたり、ふと思わぬ所で見つけたたり、「運命的な出会い」で見つかったりするものです。在学中にふとした事で見つかるかも知れませんし、大学に入ってから様々な人達と出会い、様々な経験をし、その中で見つかるかも知れません。ですが、ただ「夢」が見つかるのを待っているだけではいけません。焦らずに、積極的に行事に参加したり、色んな人と話をしたりして、自分から行動して下さい。そうすれば遅かれ早かれきっと「夢」は見つかるはずですよ。

最後に、まだ人としての経験も浅い僕ですが、これを読んで少しでも希望を持つことができたから嬉しいです。みなさんのこれからの日々がとても充実したものであるように応援しています。 同志社大学二年 野田 直希(高校61回卒) みなさん、こんにちは。 伝習館高校を卒業し、大学生生活を始めては一年がたちました。大学では講義、サークル、バイトなどと充実した生活を送っています。 大学の講義では高校と違いある分野を深く掘り下げて勉強しています。学部ごとに定められている必修科目と一般教養という自由に取れる科目を勉強しています。大学では、出欠をとる講義は語学くらいであり、出席はほぼ自己責任となっています。自分の周りには講義にまじめに出る人もいればそうでない人もいます。ただ講義に出ることによって自分の知識を深めることができるのでとても充実しています。 また大学にはサークルというものごとたくさんあります。テニス、フットサル、イベントサークルなどという一般的なようなものあれば温泉サークルなどのような個人の趣味から作られたサークルもあります。自身も2つのサークルに所属しており、とても充実した大学生活を送るカギとなっています。 今年から片方のサークルでは副会長になり、責任感や運営の難しさなどはありますが、とても充実しています。皆さんも大学に進学したらサークルに入ることをお勧めします。 さらに高校ではできなかったバイトを始め今まで以上に視野が広まりました。バイト先での責任感や仕事のきつさはありますが、いろいろな人と交流することができ、とても充実しています。今では週3ほどのペースで働いていますがとてもバイトが楽しいです。お金を稼ぐことの難しさも実感することができるので大学に進んだらバイトをするのもいいと思います。 高校の時は勉強をすることがきつく勉強を投げ出したくなることも多々ありましたが、今では頑張つて勉強してよかったと思つています。今はきついかも思えないけれど頑張つた分だけ楽しい大学生活をおくる事ができます。だから勉強も部活もがんばり、残りの高校生活を充実させてください。

「修文練武」剣道部の現状

剣道部顧問 野田千三

柳川藩の子弟の教育目標であった「修文練武」を剣道部活動の目標と定め、活動を続けている剣道部の現状について、報告します。

二三年度の部員数は、男子二〇名、女子一六名(内四名マネージャー)計三十六名です。少子化の影響を受け、各校とも剣道部員の確保に四苦八苦している中で三六名の部員数は、筑後地区でも上位にランクされる部員数です。二三年度の高体連剣道大会は、男女団体とも、ベスト八位以内を確保するものの県大会出場(五位以内)にはもう一歩という結果でした。女子個人倉重文主将が県大会出場、二三年度を占う新人大会では、平川和弥主将が三位入賞、県大会ではベスト一六位でした。同女子団体では、団体戦が組めない時期もありましたが、二位という結果を納め、県大会出場を果たしました。二三年度に期待が持てる結果でした。

一方、学業の方はここ五年間、大阪大学、広島大学、熊本大学、鹿児島大学、防衛大学などの国公立大学を目標として励み、その進路実現を果たしています。月・火・木曜日は二時間、水・金曜日は一時間三〇分の練習を実施し「修文練武」の実を上げています。また、休日を使い、鹿屋体育大学遠征(九月)、鳥原剣道錬成会遠征(五月)、大牟田・柳川剣道錬成会(二月・三月)などに参加をし、競技力向上を図っています。特に三月の柳川剣道錬成会は(三月二五・二六・二七日実施)、柳川市民体育館、伝習館高校、市内小・中学校を会場に実施されています。三月二七日の最終日には、元伝習館高校校長谷口安則先生(剣道範士九段)の功績を永く高校剣道界に引き継ぐ目的にて、先生から指導を受けた高校の指導者を中心とする実行委員会が、谷口旗争奪高校剣道大会を開催しています。北陸・中国や沖縄県を含む九州各県から男女約一四〇チームの参加があります。地元で行われる錬成会ですので、同窓生の皆様の応援をお願いします。

部活動報告

平成22年度後半(9月~3月)

硬式テニス

○福岡県高等学校テニス大会 男子団体 県大会出場

バレーボール部

○福岡県高等学校バレーボール新人大会 男子 県大会出場

バスケットボール部

○福岡県高等学校バスケットボール新人大会 女子 県大会出場

ソフトテニス

○福岡県高等学校ソフトテニス新人大会 男子個人 辻陽介・本木祐樹組 県大会出場

剣道

○福岡県高等学校剣道新人大会 団体 女子 県大会出場 個人 男子 平川和弥 県大会出場

卓球部

○福岡県高等学校卓球新人大会 男子団体 県大会出場 男子個人 待鳥暢允 県大会出場

バドミントン部

○福岡県高等学校バドミントン新人大会 個人 大坪圭右 県大会出場

弓道部

○福岡県高等学校弓道新人大会 個人 東雅治、荒巻央、山崎佑太 県大会出場

水泳

○福岡県高等学校総合体育大会水泳競技大会 男子 100m自由形・50m自由形 高田雄太 県大会出場



サッカー部

○福岡県高等学校サッカー新人大会 県大会出場

陸上競技部

○福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会 男子 砲丸投げ 大淵竜彰 県大会出場 女子 800m 塚本美貴・末永彩織 県大会出場 400mリレー 池田・井口・堤・鬼丸 県大会出場 1600mリレー 塚本・末永・高井良・鬼丸 県大会出場 ○福岡県高等学校新人駅伝競走南部ブロック大会 第2位 1区-末永彩織、2区-北原里紗、3区-高井良美沙、4区-塚本未貴

弁論・放送部

○東海高等学校主催 第64回全国高等学校弁論大会 文部科学大臣賞 中尾美和 ○第34回全国高等学校総合文化祭 弁論部門 第4位 優秀賞 砂掛夏美 ○第49回福沢諭吉記念全国高等学校弁論大会 第2位 大曲優実

書道部

○福岡県高等学校総合文化祭 書道部門 筑後地区揮毫大会 (特選) 岡亜沙美、岡さと子、酒見春那、志岐聡美、永田理沙、金子佳音里、龍安紀、白谷暢治、苑田利沙 以上県大会出場。

書道部

○福岡県高等学校総合文化祭 書道部門 全国大会推薦 金子佳音里 九州大会推薦 白谷暢治 特選 岡さと子、永田理沙、志岐聡美、苑田利沙

美術部

○福岡県高等学校総合文化祭 デザインコンペ部門 (特選) 江口友里、峰尾優里

吹奏楽

○福岡県高等学校総合文化祭 県大会出場



文武両道ここにあり!

進路指導専事 川口 勝久

伝習生は、8割の生徒諸君が部活動をしています。例えば、今春の九大現役合格者20名中15名が、サッカー部・バドミントン部・卓球部・テニス部・陸上部・弁論放送部・化学部・吹奏楽部・茶華道部・美術部で3年間それぞれの技と心を磨きました。また、下記の大学合格者の大半が部活動・生徒会活動・学校行事などに汗を流し、生涯の絆を深め、数々の輝かしい実績をあげています。

さらに、素晴らしい先輩方の講演会やその年度の卒業生による「進路講話」など、先輩と後輩のつながりも強く、自ら厳しい道を求め新しい世界を切り開いていくという伝習館の伝統が脈々と受け継がれています。今後とも、同窓会の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。(本年度の主要大学の合格者数は下記のとおりです。)

平成23年3月進路実績

() 内の数字は合格者人数

国立大学合格者 140名

Table listing national university admissions: 東京大(1), 名古屋大(2), 神戸大(2), 九州大(20), 筑波大(1), 千葉大(1), 東京農工大(1), 横浜国立大(2), 奈良女子大(1), 広島大(3), 山口大(5), 九州工業大(9), 福岡教育大(9), 佐賀大(26), 長崎大(12), 熊本大(14), 大分大(2), 宮崎大(1), 鹿児島大(4), 京都府立大(1), 北九州市立大(8), 福岡女子大(6) など

私立大学合格者 381名

Table listing private university admissions: 早稲田大(5), 慶応大(2), 上智大(1), 青山学院大(5), 明治大(7), 中央大(4), 法政大(6), 東京理科大(3), 同志社大(16), 立命館大(29), 関西大(3), 関西学院大(5), 西南学院大(72), 福岡大(93) など

準大学合格者 15名

防衛大学校(14) (1次合格者 78名) 水産大学校(1)

公務員合格者 6名

国家三種(1) 福岡市役所(1) 福岡県警(1) 福岡県警察事務(1) 海上保安(特別)(1) 陸上自衛隊看護学生(1)

伝習館蔵

「孔子立像」一般公開



九州国立博物館開館五周年を記念して開催された特別展「黄檗」(京都宇治・萬福寺の名宝と禅の新風)において、本校所蔵の「孔子立像」が特別展示された。臨済宗、曹洞宗とともに日本三禅宗に教えられる黄檗宗は承応3年(1654)長崎に渡来した中国明末の名僧・隠元禪師によって宇治・萬福寺に開創され、今年で350年にあたる。時を同じくして、明の遺臣・儒学者朱舜

水も長崎に来日し、交流のあった柳川藩儒官・安東省菴に明らかもたらした三体の「孔子像」を贈った。以後、安東家に代々祀られ、柳川藩九代藩主・立花鑑賢公が藩校伝習館を創立された文政9年(1826)伝習館に安置された一体である。残りの二体は現在、安東家と湯島聖堂に祀られている。

伝習館の校名の由来は「論語」学而篇、「曾子曰く、吾日に吾が身を三省す。人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習わざるを伝ふるかと」(はっきりと習得しないことを、人に教えたりしていないだろうかという戒め)に依拠している。

その他、安東省菴関係書札、朱舜水書札、黄檗僧逸然書札等も展示され、三者の交流や立場の相違も明らかにされている。